

## はじめに

この本の編集は次のような構成にした。

対談（鼎談）の登場人物ごとに○○編とし、編ごとに2部構成とした。

第一部「対談（鼎談）」は、すでに発刊した「社会福祉をけん引する人物」の対談（鼎談）内容を転載した。出版元である大学教育出版の許可を得たうえでの転載である。第二部「対談者（鼎談者）からのコメント」では、対談者である塚口氏は、対談者であると同時にこの対談（鼎談）をコーディネートする立場でもあったので、この対談（鼎談）を通して強く感じたことをコメントしていただいた。このコメントは読者が対談（鼎談）から何を学び取っていただくかのきっかけの一つにしていたければ、との思いである。

「社会福祉をけん引する人物」シリーズはNo.5まで進めてきたが、ここに登場する先達から何を学ぶかが、この出版の目的である。

社会福祉分野という非営利業界に限らず、企業分野においてもリーダー論は氾濫している。しかし、これらの論調はいろいろなりリーダーから教訓を引き出し、抽象的にまとめたものが大半である。それらの論調には納得できるが、読んだ後から頭から抜けていく。抽象的にまとめられたものは実態ではないからである。だから、いざというときに中々実践に結びつかない。

このシリーズに登場する方々は、日常的に接し言葉を交わし、時には論議する身近な仲間である。身近な仲間であるが一味違う味わいを持っておられる。この一味違うところを塚口コーディネイターが巧みに引き出していく、ここがなんとも面白い。このシリーズには出版企画者である笹山周作も登場するので、コメントされる側に回らざるを得なくなったが、この企画は小生が中心になって野嶋副理事長と一緒に練った。

このシリーズ集は、多くのスタッフによって編集された。野嶋納美副理事長、社会福祉法人ささゆり会法人本部長の笹山博司、流通科学大学の辻尾朋子、社会福祉法人ささゆり会魚崎グループ事務長の丸山絵理子、社会福祉法人千種会法人

本部長の森脇恵美などの諸氏である。この場を借りて感謝申し上げたい。

また、出版に当たって下さった(株) 大学教育出版の佐藤守代表、懇切な助言と校正に当たっていただいた社彩香氏にも改めてお礼申し上げたい。

本書は、本年度計画している本会主催の経営セミナーで活用したいと考えている。

NPO法人福祉サービス経営調査会理事長 笹山周作

同上副理事長 野嶋納美

兵庫県社会福祉の先達から何を学ぶか

---

目次

はじめに ..... i

## 城 純一 編

第一部 対談（鼎談） ..... 1

城純一の生い立ち、社会福祉の道に入った動機 ..... 2

伝統を生かす ..... 6

経営困難法人への援助 ..... 10

地域政治に関わって ..... 16

地域ボランティアとしても活躍 ..... 19

資格取得で自己の向上を ..... 23

後に続く事業者への提言 ..... 25

城ノブの業績 ..... 29

第二部 対談者（鼎談者）からのコメント ..... 37

## 笹山周作・勝則兄弟 編

第一部 対談（鼎談） ..... 41

社会福祉・介護福祉事業を目指した動機 ..... 42

社会福祉法人のサービス提供と株式会社での提供の関係 ..... 47

もう一度経営について考えよう ..... 55

社会福祉充実計画とは ..... 58

社会福祉法人のリーダー像について ..... 62

再びリーダー論に戻って ..... 73

経営の要諦はモチベーションを上げること	75
介護人材を増やすための施策とは	79
社会福祉法人のガバナンスについて	83
職員のモチベーションを上げる様々な試み	88
第二部 対談者（鼎談者）からのコメント	91
西川全彦・八寿子 編	
第一部 対談（鼎談）	97
生い立ちと福祉の道に入ったきっかけ	98
政治との関わり	101
兵庫県保育推進連盟の立ち上げ	110
姫路市保育協会会長に選任される	112
新たな高齢者介護事業に挑戦	116
これからの保育はどうあればよいか	118
研究活動を主導	124
他法人の再建を援助したつもりが	126
姫路市社会福祉法人経営者協議会会長として	129
結びとしての纏め	134
第二部 対談者（鼎談者）からのコメント	135
岸本 敦・森脇恵美 編	
第一部 対談（鼎談）	139

社会福祉経営に関わることになった動機と原点	140
小室豊允先生とのかかわり	141
特養の拡大を図る	143
施設におけるホスピタリティの発揮はノーマライゼーション実現への道	145
経営者は、豊かな人格者であれ	149
職員は職場の宝	151
社会福祉法人千種会職員座談会	153
第二部 対談者（鼎談者）からのコメント	177
佐藤光子・佐藤恒夫 編	
第一部 対談（鼎談）	181
介護福祉業界に参加する	182
婦唱夫随の経営が始まる	183
施設経営には基本理念と目標を	186
経営実践の具体化	189
事業の拡大、その意義	193
事業、行事・催しの意味	198
研修には多様な利用者ニーズに対応できる資質を	200
施設経営のガバナンス強化について	203
佐藤夫妻へのメッセージ	205
第二部 対談者（鼎談者）からのコメント	227
【登場人物のプロフィール】	231